



楠隼中学校・高校だより

全国から生徒が集う全寮制中高一貫教育校

中学校 将来の夢について

今年の夏は、新型コロナウイルス感染症の影響で休校となった分の、失われた授業時間を取り戻すために、夏休みを短縮し授業を行ってきました。いつもの夏とは違い、夏休み期間中も寮に残る生徒は、学校へ出てきて自習を頑張っていました。

自習に来ていたふたりの生徒に、将来の夢について話を聞いてみました。映画『ボヘミアン・ラプソディ』を見てから「クイーン」にハマったという東京都出身の氏原君は、特に『Killer Queen』『Don't Stop Me Now』『Play the Game』がお気に入り。寮でよく聴いているとのこと。生き物が大好きで、顕微鏡に出会ってからは生き物「愛」が更に高まり、将来は生物学者になって新種の生き物を探してみたいと、自分の夢を語ってくれました。休みの日は学校周辺で生き物探しをよくしている氏原君ですが、肝付町の自然あふれる環境が大好きで、楠隼で過ごす6年間の中で色々な場所に出かけてみたいと話してくれました。小学校のころ「ロケットの仕組み」を知りたくて、宇宙少年団に所属していた榎屋君は、小学校4年生から銀河留学で肝付町立内之浦小学校に通っていました。地域の方々「あいさつ」を返してくれる温かい環境や、多くの仲間と出会えたこの肝付町が大好きだという榎

屋君。1学期の終業式の日には、「あいさつが素晴らしい生徒」として全体に取り上げられました。そんな彼は、小学校の頃に出会った『弁護士のみみつ』という本に影響を受け、将来は検察官や弁護士などの法律関係の仕事に就きたいと語ってくれました。楠隼

中学校には、ふたりのように将来のビジョンをしっかり描いている生徒がたくさんいます。生徒たちは、高い志をもった『仲間』から、お互いに刺激を受けることで大きく成長しています。私たち教職員も生徒たちから刺激をいっぱいもらうことで、日々の授業や教育活動に力が入ります。インタビューが終わり、教室へ戻るふたりの後ろ姿は、いつもより大きく見え、夢を実現させたいという強い意志を感じ取ることができました。世間はコロナ禍で大変な時期ですが、生徒、教職員共に今できることを一歩ずつ進めて行けたらと思います。



高校 野球部大会報告

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、高校3年生にとって最後の大会となる高校総体・高校野球（本大会）が中止となりました。他校との練習試合、下級生との試合などを行い、それらを引退試合とする部活動がほとんどでした。そのような状況の中、幸いにも高校野球は、代替大会が開催されました。本校にも、野球部（軟式）があり、代替大会（7月17日〜20日）に出場しました。

出場校は、7校6チームでした。初戦は、池田・育英館の連合チームと対戦しました。3年生の頑張りもあり、7対3で勝利することができました。翌日の準決勝は、鹿児島高校と対戦しました。四球やミスが重なり序盤に5点を失い、苦しい展開となりましたが、部員全員が一丸となり、粘り強く戦いました。残念ながら、6対3で敗れましたが、練習の成果を十二分に発揮してくれました。

7月17日(金)												
学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H	E
楠隼	2	0	0	0	1	0	3	0	1	7	7	1
池田・育英館	0	1	0	0	0	1	1	0	0	3	7	2

7月18日(土)												
学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	H	E
楠隼	0	0	2	0	0	0	0	1	0	3	6	0
鹿児島	2	3	0	0	1	0	0	0	×	6	5	0